

## 分科会の設置（案）について

第1回有識者懇談会において北陸圏の課題等について様々なご意見を伺ったところですが、特定のテーマについて新たな広域地方計画に的確に反映させるため、有識者懇談会委員による分科会を設置し、専門的知見から提言を頂きたい。

### ➤ 分科会のテーマ

#### ■テーマ① 若者の圏外流出

- ・ 第1回有識者懇談会では、人口の社会動態による減少、特に「若者の北陸圏外への転出超過」について重要な課題であるとして複数の委員から意見が述べられたところ。
- ・ これまで、持ち家比率や共働き率、三世代同居率の高さ、地域コミュニティの強さなどは、人口の問題においても北陸の「強み」と認識していたところであるが、これらは若者に対して寛容さに欠く要因になっており、多様な価値観が受け入れられることや男女共同参画の実現が若者の流出防止に重要であるといった意見が上げられた。
- ・ 具体的な対応策としてリカレント教育やIT企業の参入、人材の流動性を高めることなどが提案されたが、北陸圏広域地方計画の施策として取りまとめるため、さらに幅広の意見や掘り下げた議論をお願いしたい。

#### ■テーマ② デジタルの活用

- ・ 全国計画の中間取りまとめ（R4.7）では、デジタルを徹底活用して生活者・事業者の利便を最適化する「地域生活圏」が提案されている。また、デジタル田園都市国家構想においても「デジタルは地方の社会課題を解決するための鍵」としてDXの推進を求めている。
- ・ 第1回有識者懇談会では、「リアルの人的資源の少ない地域では如何にデジタルで支援ができるかといったまちづくりの視点が大事」という意見も上げられている。
- ・ 一方、懇談会では「デジタル技術」「DX」「テレワーク」「SNS」といった用語は意見の中でも多々用いられていたものの、どのようなデジタル技術をどのように活用すべきか、活用が期待されるかといった具体的な提案を伺いたい。
- ・ そこで、現段階では「地域生活圏」の考え方・取り組み方は具体的には示されていないものの、北陸圏において期待する「デジタルの活用」について幅広に意見を伺いたい。

### ➤ 分科会の開催時期

- ・ 令和4年11月～（1～2回程度を想定）

### ➤ 分科会のメンバー

- ・ 分科会メンバーは、テーマ毎に各委員から参加希望を募ったうえで座長が指名するものとします。各委員のご意向により二つの分科会に参加して頂くことも可とします。

- ・ 高山座長は、分科会にはオブザーバーとして参加いただきます。

➤ **分科会の開催方法**

- ・ オンラインにより開催。
- ・ 堀田副座長、野嶋副座長のお二方に分科会の座長として議事進行、とりまとめ（分科会としての提言）をお願いしています。
- ・ 議論の基となる資料は各委員からご用意して頂くとともに、必要に応じて事務局からも提示するものとします。
- ・ 委員からの忌憚のないご意見、議論を頂くため、分科会は「非公開」とします。

以 上